



# 体験から生まれたもの。

## —東海ブロック「教育ファーム」成果発表・交流会— 参加者募集！！

学校の総合的な学習や、公募で集まった市民などで、農林漁業者の指導で作物等の育つ「過程」を体験する教育ファーム。  
(社)農山漁村文化協会と東海農政局は、平成20年度 につぼん食育推進事業「教育ファーム推進事業」により様々な主体により行われている農林漁業体験の取組み成果の検証と、取組みの継続に向けた課題解決を目的とし、成果発表・交流会を開催します。  
当日は実践報告と分科会の2部構成。代表4団体に教育ファームの取組み効果を大いに語ってもらうと同時に、課題の解決にむけ管内の全取組団体(21団体)と参加者による分科会で実践的な討議を実施します。  
農林漁業体験の活動に関心のある方のご参加をお待ちしています。

■主催 (社)農山漁村文化協会  
農林水産省東海農政局

■日時 平成21年2月6日(金)  
10:30～17:00(昼食・休憩時間含む)

■参加 無料(懇親会は除く)、要事前申込み

■会場 名古屋能楽堂 会議室(案内裏面)

### プログラム

平成20年度農林水産省 につぼん食育推進事業「教育ファーム推進事業」

#### ●実践報告(4事例) 10:30～14:30(昼食休憩含む)

【報告1】体感・触感により地元を愛する心を育む  
～教育ファーム推進協議会の立ち上げの思い～

報告者：(有)牧成舎 代表取締役 牧田礼子氏(飛騨中野教育ファーム推進協議会)

飛騨市の「鮎の瀬牧場」と地域の農家、飛騨市が連携。公募により集まった親子により、酪農、稲作・野菜栽培、調理体験を実施。目指すのは、乳牛の暖かみを感じる豊富な体験メニューの中で、地域の魅力を見だし、参加者と関係者に「地域の大切さ」「地元力」「故郷を愛する気持ち」を育てること。

【報告2】大豆を育てた布土保育所青組さんと子ヤギたち  
～ダイズと子ヤギ、子どもの一年の軌跡～

報告者：大豆栽培農家(エコファーマー) 森川美保氏(季の野の台所)

新規就農後、8年前から農業体験の受け入れを始めた大豆農家の森川さん。「人の力だけでは大豆は育たない」ということ、保育園児に作物の成長と「いのち」を体感させるため、大豆栽培とともに「生きた草刈り機」の子ヤギを飼い、「子どもと子ヤギと大豆が共に育つ」体験を企画。でも、体験を行ううち、「目的そのもの」も育ちます。

【報告3】おいしいよ! 安城の米&梨  
～総合的な学習時間「梨っ子タイム」～

報告者：安城市立梨の里小学校 教諭 稲垣さよ子氏(安城市梨の里教育ファーム推進協議会)

安城市立梨の里小学校、山崎製パン(株)安城工場、明治用水土地改良区、黒柳製粉(株)、稲作・梨栽培農家、愛知県立安城農林高校、安城市教育委員会、安城市が連携。稲作・梨栽培と、農業高校生の指導で梨ジャム作り、パン工場での社員の指導で米粉入りパンの製造を体験。生産の苦労や喜び、生産者の思いを感じ取り、食の大切さを学びます。

【報告4】農業小学校は「食」と「農」のワンダーランド  
～子どもを通して大人が目覚める!～

報告者：(社)大山田農林業公社 事務局長 三苦悟氏(おおやまだ農業小学校)

農を通して命の大切さと、子ども達の思い出作りなどを目的に開校し今年で13年目。ほとんどボランティアのスタッフで運営。公募して集まった家族毎に菜園を提供し、菜園の隣の田んぼで稲作体験も。体験時の昼食は「採れたもので食事」し、参加者同士の家族・世代間の繋がりを深めます。

#### ●分科会 15:00～16:30

東海地域の全取組団体(※裏面参照)と一般参加者が2つの分科会に分かれてざっくばらんな意見交換。お好きなテーマを選択してください。

→テーマA：実践の勘どころ(質を高める実践手法)

→テーマB：継続のための環境づくり(団体間のネットワーク、公募・PR方法、経費等)

#### ●全体会 16:30～17:00

分科会での討議内容を報告し参加者間で共有します。

#### ●懇親会 18:00～20:00

出席者間の交流を図ります(懇親会のみ会費制：会費2千円程度、当日徴収いたします)



●東海ブロック教育ファーム推進事業モデル実証地区協力団体一覧（表面の事例報告団体を除く）

個別の活動内容は以下のホームページで。当日は協力団体による展示等も行われる予定です！！

- ・東海地域の教育ファーム（農林漁業体験）事例 <http://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/shokuiku/farm.html>
- ・教育ファームねっと <http://www.edufarm.jp/>

【岐阜県】

恵那市 えな土地改良区（岐阜県立恵那農業高等学校）

→農業高校生による不耕起栽培米の栽培体験。

中津川市 私立椈の湖農業小学校

→都市生活者を中心とした公募型農業小学校。

瑞浪市 NPO 法人 ポランの広場推進協議会（瑞浪市立陶小学校）

→陶小学校と中京短期大学とNPOの協働によるすいか・いちご栽培とあまご養殖体験。 写真：小学生と体験する中京短期大学生（瑞浪マコモ教育ファーム推進協議会）

瑞浪マコモ教育ファーム推進協議会（瑞浪市立土岐小学校）

→中京短期大学生と小学生による栽培から食べるまでを共に学ぶ体験。

【愛知県】

新城市 愛知東農業協同組合（JA愛知東こども農学校）

→開設4年目のJAが行う地域の子供たちへの食農教育。四谷千枚田での稲作体験も。

田原市 NPO 法人 はっくるベリーじゃむ

→椈山女学園大学等と協働した、アイガモ米の栽培体験など。

豊田市 西村自然農園

→東京より移住、就農して30年。「農家の暮らし」を体験。

豊橋市 豊橋田原広域農業推進会議

→全国トップクラスの農業生産額を誇る地域で、行政と農協が連携した農業体験。

日進市、名古屋市 日進野菜塾

→都市生活者に農業体験の二ーズがある！！都市に生活する消費者が設立した農業体験塾。

西尾市 西三河農業協同組合（西尾市立花ノ木小学校・寺津小学校・室場小学校・三和小学校）

→西尾市内4小学校の総合的な学習の時間などで、一連の稲作体験。

半田市 共育ネットはんだ

→募集・メニュー構築など、お互いの得意分野を生かし農家とNPOの共同による農業体験。

【三重県】

鳥羽市 鏡浦地区青少年育成会教育ファーム推進協議会

→鳥羽市鏡浦中学校が地域の協力で行う牡蠣養殖など海の体験学習。

津市 三重大学大学院生物資源学研究所 附属紀伊・黒潮生命地域FSC（津市立豊が丘小学校）

→センターのミッション「教育」、「研究」、「地域貢献」、「国際交流」で行う教育ファーム。

●(社)全国農協観光協会（JAあいち知多、JAあいち中央、JAあいち海部）

→系統の「食農教育プラン」の一環で行われる教育ファーム。



写真：小学生と体験する中京短期大学生（瑞浪マコモ教育ファーム推進協議会）



写真：子どもを背にクワを使う母親（日進野菜塾・名古屋菜園）



写真：中学生による牡蠣養殖の体験（鏡浦地区青少年育成会教育ファーム推進協議会）

●会場のご案内

名古屋能楽堂（会議室） 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

一部分科会、展示については名古屋能楽堂正面の東海農政局1F会議室にて行います。

地下鉄鶴舞線「浅間町」下車1出口徒歩10分、地下鉄名城線「市役所」下車7出口徒歩12分

市バス栄13系統（栄～安井町西）「名古屋城正門前」下車

できる限り公共交通機関でお越しください。

●お申込み（要事前申込み）・お問い合わせ先

東海農政局消費・安全部消費生活課（食育）TEL:052-223-4651/FAX:052-220-1362



東海ブロック「教育ファーム」成果発表・交流会 参加申込書 FAX:052-220-1362

参加申込みは終了しました。

※平成21年1月30日（金）までにお申し込みください（満席の場合はご出席をお断りする場合があります。）。